

ひろしまの緑

発行 公益社団法人広島県みどり推進機構



2023
Vol.98
Oct.

令和4年度林業・環境緑化写真コンクール作品
タイトル：「透き通る紅葉」
撮影者：長谷川敏喜さん（広島市）

目次

野生鳥獣との共存を目指して……………	2
NPO法人ひろしま人と樹の会 創立30周年記念行事 ……	3
広島県緑の少年団活動発表会……………	4
東京海上日動の環境保護の取組み……………	5
広島県緑化センターの『ドングリの木』……………	5
森林・林業・環境緑化写真コンクール作品募集……………	6
イベント掲示板……………	6
西小みどりの少年団……………	7
広島県緑化ポスター原画コンクール……………	8

 **緑の募金**
『秋のキャンペーン』
(9月～10月)
ご協力をよろしくお願いいたします

みどり推進機構ホームページ  広島県みどり推進 
URL <https://www.green-hiroshima.or.jp>



野生鳥獣との共存を目指して

一般社団法人広島県猟友会 会長 國武訓扶衛



一般社団法人広島県猟友会は、狩猟知識の普及及び狩猟道徳の向上を通じて、野生鳥獣の保護、鳥獣資源の確保、有害鳥獣の捕獲及び狩猟の適正化を図ることを目的として設立された団体です。

我が国では、かつて狩猟は趣味・娯楽の一環として理解されてきました。

しかし、現在では、二ホンシカ、イノシシなどの生息数の増加により貴重な自然環境や農林水産業に大きな影響（被害）が及んでおり、その個体数調整（管理）の必要性が増大し、「野生鳥獣の保護・管理の担い手」としての狩猟者の社会的役割が増大しています。

野生鳥獣の捕獲ができるのは狩猟者だけであり、今や狩猟は、社会貢献の手段の一つとしても位置づけられています。

広島県猟友会の会員は約3千名で推移しほぼ横ばいの状況ですが、最大時と比較すると半数以下に減少し、特に銃猟の免許保持者及び会員は減少傾向にあり、その内60歳以上が7割近くを占めています。

近い将来、体力的に野生鳥獣の捕獲が出来なくなる高齢者が増え、狩猟免許所持者数及び高い捕獲技術を有するベテランの狩猟者数が減少することが危惧されることから、広島県からの受託事業等を活用して、野生鳥獣の捕獲

の担い手の確保・育成のために、狩猟免許取得希望者を対象とした狩猟免許初心者講習会や新たにハンターとなった方を対象とした捕獲技術者育成アカデミー等を実施しています。

また、安全かつ適正な狩猟等の確保するために、会員を対象として、安全狩猟射撃大会、ライフル・スラグ射撃大会、わな架設講習会、安全狩猟射撃講習会等を実施しています。

さらに、有害鳥獣捕獲隊員を対象として、捕獲技術の向上を目的として、捕獲隊リーダー研修や新規捕獲隊員育成研修等を実施しています。狩猟は自然を体感しながら野生の鳥や獣を探し、自らの知恵と腕で、また

愛犬や猟友とのチームワークで狩るのが狩猟の奥深さと魅力です。

増えすぎたイノシシや二ホンシカが引き起こす様々な被害の抑制にも貢献できる狩猟は、人と鳥獣が共存していくための重要な役割を担っています。

狩猟に興味のある方や有害鳥獣被害対策に参画したいとの思いがある方は、狩猟免許を取得して、是非、猟友会へご入会ください。



創立30周年記念行事の開催（里山と歩んで30年）
NPO法人ひろしま人と樹の会

里山がすっかり緑色に染まった季節、5月28日、広島市中区東千田町のCLIP HIROSHIMAで里山と歩んで30周年を祝う「ひろしま人と樹の会」創立30周年記念行事を開催、会員や森に関心を持つ人たち約50名の参加があった。

初めに中越信和理事長の挨拶があり、里山の大切さと森林ボランティアの必要性などが述べられた。引き続き、来賓を代表して広島県森林保全課長野上光康様から祝辞があり、祝電が披露された。

第一部の基調講演とシンポジウムは「これからの森林ボランティア」をテーマに行われた。基調講演者は鳥取大学元教授で「智頭の山人（やまびと）塾」塾長の山本福壽氏。

現在智頭町（鳥取県八頭郡）で、林業を学びたい人を育てる塾長として森林ボランティア活動の実践活動などから、これからの活動の在り方についての提言があった。



中越理事長 あいさつ



野上森林保全課長 祝辞



山本塾長 基調講演



シンポジウム



参加者の皆様



記念パーティー



30周年記念誌

①智頭林業の背景となるスギ天然林の存在、②智頭林業が発展した経緯、③ボランティアの面白さ（リピーター育成）、④リーダー・アドバイザーの存在、⑤自治体の支援、⑥移住者の林業への参加の6点が述べられた。智頭町では経済林を有効に活用でき、各々の団体が有機的に結びついた活動や行政の手厚い支援があることを知った。また、森林ボランティアの5つの基本となるサジェスチョンをいただいた。

①明確な活動目標、②緑の基本知識を持ったリーダー・アドバイザー、③自治体の支援、④安全な作業・事故防止と保険、⑤楽しさの要素、最後の映像にあった「ご安全に」が、一番大切な指摘として深く心に残った。

続いて行ったシンポジウムでは基調講演者の山本福壽氏、広島県みどり推進機構の奥迫輝昭氏、NPO法人もりもと倶楽部Hiroshimaの本恵由美氏をパネラーに、中越理事長がコーディネーターを務めた。

山本塾長は講演に「これからの森林ボランティア」は、別会場で実施。食事を挟み30周年を記念して制作した活動映画の上映や懐かしい仲間や初対面の交流が行われ楽しい時間をすごした。森林が

進機構の奥迫輝昭氏、NPO法人もりもと倶楽部Hiroshimaの本恵由美氏をパネラーに、中越理事長がコーディネーターを務めた。

山本塾長は講演に「これからの森林ボランティア」は、別会場で実施。食事を挟み30周年を記念して制作した活動映画の上映や懐かしい仲間や初対面の交流が行われ楽しい時間をすごした。森林が

第一部の講演・シンポジウムでは、一人ひとりの里山への関心を高めるアプローチ（量から質）を見つけ、質の高い森と人との望ましい在り方について光が差し込むアドバイスを受け終了した。

山本塾長は講演に「これからの森林ボランティア」は、別会場で実施。食事を挟み30周年を記念して制作した活動映画の上映や懐かしい仲間や初対面の交流が行われ楽しい時間をすごした。森林が

ランティア、森づくり、大切なことなど再考する有意義な半日だった。節目の30周年記念事業の取組は、記念式典の開催、直近5年間の活動を中心にまとめた「森林ボランティアのあゆみ（30周年記念誌）」の発行、活動映画の制作、会のオリジナルTシャツの製作。

里山と歩んだ30年は、会員のご理解とご協力に加え、各事業への協力者や活動参加者が多数おられたことです。皆様方に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

第41回

広島県緑の少年団交流集会 (活動発表会)

開催概要

- ・主旨：県内の緑の少年団が一堂に会し、自然に親しみながら、相互の研さん、交流と親睦を図るとともに、自律・友愛・協同・奉仕の心を養うため、活動発表会を開催した。
- ・日時：令和5年8月2日（水）
10時40分～15時30分
- ・場所：広島市青少年野外活動センター
ター（安佐北区安佐町小河内）
- ・主催：広島県緑の少年団連盟
- ・参加団体：4団体
- ・可部南グリーンズ緑の少年団、吉和緑の少年団、切串緑の少年団、莊野緑の少年団（ビデオ参加）
- ・参加者数：団員・指導者計43名

開催次第

まず、広島県緑の少年団連盟会長の代理として奥迫事務局長が開会のあいさつを行った。

次に、各緑の少年団から日頃の活動内容を発表した後、意見交換を行った。午後は、農業体験、クラフト教室で交流し、無事終了した。

各緑の少年団の主な発表内容

■吉和緑の少年団（廿日市市）
小・中一貫校であることを活かし、小中学生が連携した活動や吉和の優れた自然環境を学ぶ活動をj行っている。発表では、吉和地域の紹介、学校周辺でのひまわりの苗植え、野鳥観察や木工品づくり、職場体験として、安田林業での林業体験学習などを紹介した。

■可部南グリーンズ緑の少年団（広島市）
少年野球を母体として、子ども達の人間性の幅を拡げるため、少年団としても毎月活動している。日常の活動場所以外に、みどり



の集い、ひろしま山の日県民の集い、自然体験思い出づくり、卒団記念植樹などを行っている。発表では、卒団記念植樹としてアオダモの植栽、不用なマツの伐採などを紹介した。

■切串緑の少年団（江田島市）
学校での緑化活動や学校の南に位置する古鷹山にある学校林での森林体験活動を行っている。発表では、結団式の様子、緑の学習として遠足での生き物観察や自然観察、クマン岳への登山、一人一鉢運動を紹介した。

■莊野緑の少年団（竹原市）
ビデオ参加として、学校の概要、地域のお年寄りに届ける花鉢配り活動、菊（クッションマム）の栽培、学校にいつもたくさんの花が咲いているように常時活動を行っていることなどを紹介した。



農業体験

ミニトマト、長ナス、ピーマンの収穫を体験した。



クラフト教室

竹でブンブンこまを作製した。



東京海上日動の 環境保護の取組み

東京海上日動火災保険株式会社広島支店では、保険契約での「らくらく手続きシリーズ」、「Web証券・Web約款」、「電子署名手続き」によりペーパーレスの取組みを推進されています。この取組みにより、お客様の利便性・快適性の向上とともに、広島県の環境保護に貢献し、社会的責任を果たすことにつながっています。

ペーパーレス推進を通じて緑の募金に寄付していただくことになっております。

期間：令和5年10月～令和6年2月

お問合せ先

東京海上日動火災保険（株）
広島支店業務グループ

☎082-511-9065



私たちは、「Green」を広げたいと活動に賛同・協力しています。
公益財団法人 広島県緑化センター
〒730-0202 広島県広島市東区南大蔵1-1-1
TEL: 082-511-9065
FAX: 082-511-9066
HP: www.kokoridori.com

広島県緑化センターの『どんぐりの木』

10月は「実りの秋」です。広島県緑化センターでも「どんぐりの木」が様々な「どんぐり」を実らせる時期となります。

園内には、およそ20種類の「どんぐりの木」が自生、または植栽されており、常緑樹のカシ、シイノキ類や、落葉樹のコナラ、クヌギ、カシワなど、たくさんのだんぐりの木に出会えます。自然に親しんでいただく場である緑化センターでは「どんぐりマップ」を作成して、皆様をお待ちしています。散策前にはレストハウスや管理事務所で、ぜひ「どんぐりマップ」を手にとってください。事前に公式サイトでもPDFデータをダウンロードすることも

ができますよ。このマップには、園内で見られるどんぐりの木の位置や、写真載せています。大きさや模様の違いに気づき、どんぐり博士に一步近づけること間違いなしです。子どもたちはどんぐりを見つけると目をキラキラさせて集め始めます。園内を散策することのできるような種類のどんぐりが集まると思っています。並べて見比べて観察してみてくださいいかがでしょうか。

10月15日（日）には、どんぐりを使った遊びを楽しめる家族向けの研修会「どんぐり教室」を開催します。また、11月3日（金祝）には、「どんぐりを見分けよう」の研修会も開催します。興味のある方は公式サイトやイベント案内チラシで詳細をご確認ください。

緑化センターでは11月3日を中心「もみじ祭り」や「ひろしま遊学の森スタンプラリー」



アラカシ



アカガシ



シラカシ



アベマキ



スタジイ



ツクバネガシ



マテバシイ



HP ドングリマップ



令和
5年度

森林・林業・環境緑化写真コンクール作品募集

森林・林業・環境緑化をテーマにした写真を募集します。

募集期間

令和5年9月1日▶令和6年1月31日

お問い合わせ・送り先

広島県林業改良普及協会

〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県農林水産局林業課内

TEL.082-513-4840 FAX.082-223-3583

■題材

①県民参加による森林整備やその普及・啓発活動、その成果を示す風景。②県内の林業作業風景（植樹を含む）、林相、山村の民家、森、奇岩、山村の祭り、木造建築、木材の加工、林産物生産などを対象としたもの。③学校・工場・広場などの環境緑化のための植樹作業風景、森林レクリエーション施設などの利用風景などを対象としたもの。写真は、横位置・縦位置のいずれも可、応募点数に制限はありませんが、未発表の作品に限ります。

■応募資格

広島県内にお住まいの方ならどなたでも応募できます。ただし、職業写真家はご遠慮ください。

■応募方法

- 次のいずれかで応募ください。
- ・郵送による応募：写真サイズは2L判（12.7cm×17.8cm）
- ・Eメールによる応募：デジタルファイル（1～5メガバイト程度）

・必要事項：「応募票」に住所、氏名、撮影年月日、場所、主題等を記入し、写真とともに送ってください。

■賞および賞品

特選（賞金2万円）2点／入選（賞金5千円）10点
佳作（賞金3千円）若干

■入賞発表

結果は、令和6年4月1日 広島県林業改良普及協会発行の「ひろしまの林業」及びホームページ上にて発表します。

■その他

特選・入選作品は、令和6年度「ひろしまの林業」の表紙に使用します。その他の作品も、県民の緑化意識の啓発、高揚を図るため、林業、環境緑化関係の広報資料として使用します。応募作品の著作権は、広島県林業改良普及協会に帰属するため、応募作品は返却されません。郵送による応募の入賞者には、ネガ・ポジまたはデジタルデータを提出していただきます。

主催／(公社)広島県みどり推進機構・(一社)広島県森林協会・広島県森林組合連合会・広島県林業改良普及協会

イベント掲示板（10月～12月）

行事名	実施日	料金	申込(期限)	内容
広島県緑化センター	TEL 082-899-2811	広島市東区福田町	https://ryokka-c.jp/	
自然探勝	10月6日(金)、 11月10日(金)	無料	自由参加	散策路を歩きながら、植物観察 ※荒天中止
秋のきのこ教室	10月8日(日)	無料	自由参加	園内できのこを採集し、午後から学習室で鑑定 ※採集用のカゴ持参 荒天中止
どんぐり教室	10月15日(日)	無料	要予約 先着15名	どんぐりの解説や遊び方を学習
もみじ祭り2023	10月21日(土)～ 11月12日(日)	一部有料	自由参加	紅葉クイズラリーを開催、県内最大級のオオモミジやハナノキ等…秋を満喫
つづらふじてカゴ作り	10月22日(日)	材料費1500円	要予約 先着15組	作り方の基本を学び、実践
第14回こども写生大会	10月28日(土)	無料	自由参加	園内のお気に入りの場所で自由に絵を描く ※対象：小学生以下、画用紙以外の画材持参
松の手入れ(秋)	11月1日(水)	無料	要予約 先着15名	秋の松の手入れを学び、屋外にて実践 ※剪定鋏・手鋸持参
ネイチャーゲーム	11月3日(金・祝)	無料	自由参加	自然の中で、さまざまな遊びを体験
どんぐりを見分けよう	11月3日(金・祝)	無料	自由参加	どんぐりを集めて、種類を見分ける
秋の写真教室	11月9日(木)	無料	要予約 先着15名	植物の写真撮影を学ぶ ※カメラ持参
剪定基本マスター講座	11月23日(木・祝)	無料	要予約 先着15名	剪定の基本を学び、屋外にて実践 ※剪定鋏・手鋸持参 見学不可
立石山～長者山縦走トレッキング	11月25日(土)	無料	要予約 先着15名	距離約6kmに挑戦(健脚向け) ※軽食・雨具持参 雨天中止
クリスマスリース作り	12月3日(日)	材料費800円	要予約 先着30名	リースに関する講義の後、作品作り
冬のバードウォッチング	12月9日(土)	無料	自由参加	散策路を歩きながら、冬鳥を観察 ※双眼鏡持参 荒天中止
第7回ひろしま遊学の森 「四季の移ろい」写真コンテスト公開審査	12月12日(火)	無料	自由参加	公開審査と全作品の講評を見学
常緑広葉樹の見分け方	12月15日(金)	無料	自由参加	室内にて実物の枝葉を用いて、見分け方の講義 ※ルーペ持参
粘土で作ろう	12月17日(日)	材料費1000円	要予約 先着25組	粘土で作品作り ※小学生以上対象
県立もみのき森林公園	TEL 0829-77-2011	廿日市市吉和	http://www.mominoki.or.jp/	
森のフェスティバル	10月1日(日)	一部有料	一部要予約	森のボランティア、木工教室、森のネイチャーゲーム、森のクラフト教室等

西小みどりの少年団 《三原市》

西小みどりの少年団は平成24年に設立され、三原市立西小学校の全児童が加入し、令和5年度現在の団員数は462人です。

本校は三原市内の中心部に位置し、校区の北側には西野川が流れ、山が広がる自然に囲まれた地域です。歴史的にも、菅原道真がこの地域に立ち寄り、梅を植えられたことから「梅林」と称される地名があり、西小学校の校草も梅の花をデザインされたものである等、梅との縁の深い小学校です。このような地域の自然や梅とのつながりを生かした「ふるさと学習」を毎年全学年で行い、地域の皆様のお力添えをいただきながら「学び」を深めています。

ふるさとの梅林に学ぶ「梅の学習」

平成15年に地域に結成された「西野梅林を愛する会」の皆様のご指導の下、年間を通して「梅」を学習材にした「ふるさと学習」を展開してきました。コロナ禍の中、活動を縮小する時期もありましたが、令和4年度は梅もぎを再開することができ、5年生が校区内の梅林で地域の方と共に梅（300kg）



地域の方と一緒に収穫した梅をしそ漬けし、梅シロップや梅干しづくりをしました。地域の方々のご協力を得ながら、児童は地域と梅との深いつながりについて多くのことを学びました。



を収穫しました。地域の方と紫蘇を塩もみして梅干をつけ、梅シロップを作る活動を通して、児童は地域の方と積極的にコミュニケーション活動を展開し、郷土愛や豊かな心の育成を図ることができました。

令和5年度も活動の中心は5年生ですが、6年生も昨年度の学びを生かして「梅学習」を紹介し、梅もぎ作業に協力してくれました。学びを引き継いだ5年生は、たくさん収穫した梅（400kg）を「梅干」「梅シロップ」に加工中です。地域の「とんど」で披露できるよう、ラベル作成等に取り組んでいます。

ふるさとの畑に学ぶ「野菜を育てる」

低学年は、ふるさと学習で主に栽培活動にチャレンジしています。実際に地域の方が育てておられる畑を見学し、栽培の方法を直接知ること、自然に親しみ、ものを育てることの大切さを感じ、学んできました。令和4年度は2年生がピーマン・ナス・トマトの苗を植え、育てました。令和5年度の今年は、休園となった併設の幼稚園の畑を地域の皆様が開墾してくださり、2年生がイモの苗を植えて育てて



栽培活動を通して自然とふれあい、自分が育てた野菜を味わいました。

います。「お芋パーティー」ができるか、今から楽しみにしています。

ふるさとの森に学ぶ「しいたけの植え付け」

コロナ禍で活動を縮小していましたが、令和4年度は2年生82名全員に、しいたけの原木にシイタケ菌を打ち込む活動を体験させたいという地域の方の熱い思いを受け、原木を一人1本用意することとなりました。事前に地域の方がドリルを準備してくださり、児童一人一人が原木にドリルで穴を開ける体験ができました。自分が穴を開ける、シイタケ菌を埋め込む活動を行うことで、しいたけの育つ過程に興味を持ち、いろいろな栽培の方法について学ぶことができました。

令和5年度「しいたけの植え付け」活動は、1年生79名に引き継いでもらう予定で計画が進んでいます。



しいたけ栽培を行うためにホダ木にしいたけ菌を植えつけました。一人一人がドリルを持たせてもらいホダ木の穴あけにも挑戦しました。



令和5年度 広島県緑化ポスター原画コンクール
応募多数の中から 入賞作品が決定しました!

次代を担う子供達が、森林の持つ役割、緑を守り育てることの意義・必要性を学び、考えるきっかけとなるよう、広島県緑化ポスター原画コンクールを昭和28年から実施しています。

本年度も、公益社団法人広島県みどり推進機構の主催、広島県、広島県教育委員会との共催により開催しました。県内89校から1783人の参加者があり、9月11日に審査会を開催し、次のとおり入賞者が決定しました。
 (順不同、敬称略)

◎特選 (広島県知事賞)

◆小学校の部

小河原与喜 (福山市立久松台小学校4年)



◆中学校の部

栗田 千暁 (広島市立五月が丘中学校1年)



◆高等学校の部

益本 湧光 (広島県立熊野高等学校2年)



◆特別支援学校の部

大形 春樹 (広島県立廿日市特別支援学校高等部3年)



◎入選 (広島県教育委員会賞)

◆小学校の部

- 森 匠吾 (尾道市立高須小学校1年)
- 西本 滯 (広島市立伴小学校2年)
- 三浦 菜々 (広島大学附属小学校3年)
- 山脇 大毅 (広島市立八幡小学校4年)
- 加来美結愛 (広島市立伴小学校5年)
- 森本 花奏 (広島市立吉島小学校6年)

◆中学校の部

- 高下陽菜香 (東広島市立松賀中学校1年)
- 河塚実乃里 (福山市立鷹取中学校2年)
- 片山 葵 (広島市立城山中学校3年)

◆高等学校の部

- 吉田 麻紗 (近畿大学附属広島高等学校中校 東広島校2年)

◆特別支援学校の部

- 谷越 葉介 (広島県立沼隈特別支援学校高等部1年)

◎佳作 (公益社団法人広島県みどり推進機構理事長賞)

◆小学校の部

- 初本 若葉 (東広島市立寺西小学校1年)
- 小川千香子 (東広島市立東西条小学校1年)
- 山内 あさ (広島市立伴小学校1年)
- 森島 結羽 (広島大学附属小学校2年)
- 清水 柚風 (福山市立西小学校2年)
- 永嶋優香里 (広島市立亀崎小学校2年)
- 廣川 壮志 (東広島市立寺西小学校3年)
- 永原ひかり (広島市立本川小学校3年)
- 清本あかり (広島市立安小学校3年)
- 藤田 航平 (福山市立湯田小学校4年)
- 張簡 葵 (広島市立牛田新町小学校4年)
- 川ノ上 翠 (尾道市立高須小学校5年)
- 加藤 未衣 (広島市立五日市中央小学校5年)
- 加瀬永茉莉 (広島大学附属小学校5年)
- 田中 依慈 (東広島市立板城小学校6年)
- 谷澤 実花 (広島市立本川小学校6年)
- 峠岡良太郎 (広島市立口田東小学校6年)

◆中学校の部

- 田川 眞希 (東広島市立松賀中学校1年)
- 藤原 萌桃 (広島市立五月が丘中学校1年)
- 山根萌々華 (福山市立鳳中学校2年)
- 吉田 真裕 (福山市立鷹取中学校2年)
- 上原 大志 (福山市立鷹取中学校2年)
- 大村 花楓 (広島県立広島教育学園中学校3年)
- 杉原 華 (福山市立鷹取中学校3年)
- 村上瑛愛良 (広島市立城山中学校3年)

◆高等学校の部

- 佐竹 南穂 (如水館高等学校2年)
- 伊敷 莉花 (広島県立祇園北高等学校2年)

◆特別支援学校の部

- 黒瀬 凜 (広島県立立呉特別支援学校中等部2年)
- 杉原 健正 (広島県立沼隈特別支援学校中等部1年)

公益社団法人 広島県みどり推進機構

〒730-8511 広島市中区基町 10-52 県庁森林保全課内 TEL082-513-4840
 E-mail info@green-hiroshima.or.jp
 ホームページ https://www.green-hiroshima.or.jp

支 部 事 務 局

広島市	広島市役所農林整備課	082-504-2249	安芸高田市	安芸高田市役所農林水産課	0826-47-4022
呉市	呉市役所農林水産課	0823-25-3317	江田島市	江田島市役所農林水産課	0823-43-1642
竹原市	竹原市役所建設課	0846-22-7746	府中町	府中町役場環境課	082-286-3244
三原市	三原市役所農林水産課	0848-67-6081	海田町	海田町役場都市整備課	082-823-9634
尾道市	尾道市役所農林水産課	0848-38-9212	熊野町	熊野町役場農林緑地課	082-820-5638
福山市	福山市役所農林水産課	084-928-1031	坂町	坂町役場産業建設課	082-820-1512
福中市	福中市役所農林課	0847-43-7132	安芸太田町	安芸太田町役場産業観光課	0826-28-1973
三次市	三次市役所農政課	0824-62-6163	北広島町	北広島町役場農林課	050-5812-1857
庄原市	庄原市役所林業振興課	0824-73-1124	大崎上島町	大崎上島町役場建設課	0846-65-3124
大竹市	大竹市役所産業振興課	0827-59-2130	世羅町	世羅町役場産業振興課	0847-22-5304
東広島市	東広島市役所農林水産課	082-420-0939	神石高原町	神石高原町役場産業課	0847-89-3337
廿日市市	廿日市市役所農林水産課	0829-30-9148			